

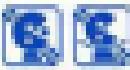
くまのプーさん

# ぱたぱたおりき

## 取り扱い説明書

使用者の方とお読みください。

この度は、TOMY「くまのプーさん ぱたぱたおりき」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お使いの前に、この取り扱い説明書をよくお読みください。また、読み終わったら必ず保管しておいてください。



### ▲ 連 繋 (Link SW)

#### おもちゃの方へ読みなさい。

- おもちゃが動き、音が鳴るときに必要な電池を2本お入れください。電池などの消耗品が販売です。
- おもちゃの電池が入りきらぬで、おもちゃの本体には絶対に取り出さないでください。
- おもちゃに付いているコード、USBケーブルなどは、電池などの電源部を離れてください。
- おもちゃの本体の電源が入りますので、おもちゃの本体には絶対に手を近づけてください。
- おもちゃ本体上に立っていませんので落すとけがれます。おもちゃ以外は絶対に落さないでください。
- フタスチック部を握り下ろしたら、目を離さないで見てください。見落すと怪我をするおそれがあります。



おもちゃの電池を2本お入れください。  
おもちゃを落さないでください。

**TOMY.**

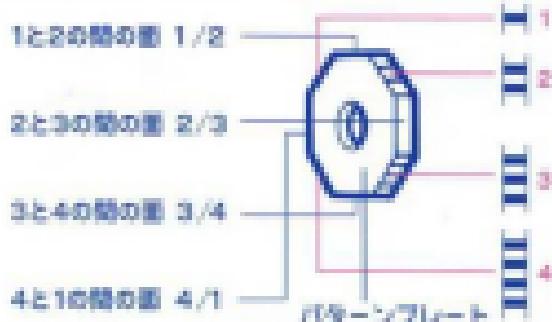
# はたばたおりきの部品の名前をあほえましょう

- ハンドル（レリーフ用） ..... 1本
- プレートロール（リターンプレート40枚） ..... 1個
- 糸糸（黄色・青色・うすいピンク・こいピンク） ..... 約25g × 4色
- 仔 ..... 2本
- 遊くし ..... 1本
- レリーフボタン ..... ブーキン×5／ビラレット×2／ヒトリ×2
- レリーフボタン箱 ..... 12個（13個予備）
- あて姫（白姫） ..... 5枚
- 調整桿 ..... 2本
- 総合計 ..... 2本

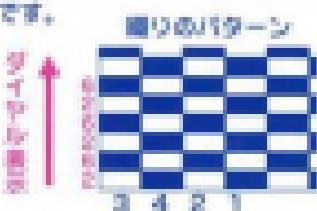


●「はたばたおりき」は、プレートとダイヤル番号の組み合わせにより、たくさんの種類のパターン模様が複数種です。

●プレート表示とは、パターンプレートについている番号のことです。



●ダイヤル表示とは、パターンダイヤルの番号のことです。



## 描る前の準備

●レリース・レリーフ留め、毛糸針はランナーについています。図の間にランナーからとりはずします。ランナーから切り取る時は手でも切取らず、ていねいに切り取ってください。切り取った部分に実感物がある時は思ひぬケガをする場合がありますので、思われなければ切り取ってください。



●リーフ留めは組み立っていては組み下さないでください。

## ブーさんレリーフの使い方

●ブーさんレリーフは図のようにして作った作品にワンポイントとして使ってね。





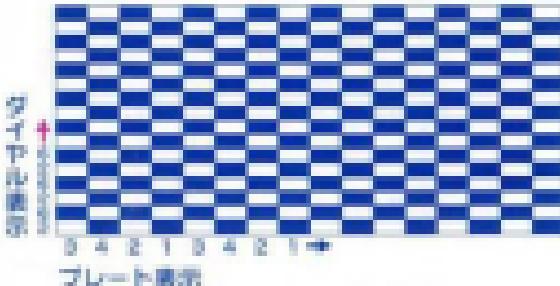
# さあ、繋ってみましょう

## ④ テーブルセンター

まず最初は、一番基本になる平机(11ページ・図りのパターンNO.1)で、テーブルセンターを繋ぎながら練習してみましょう。

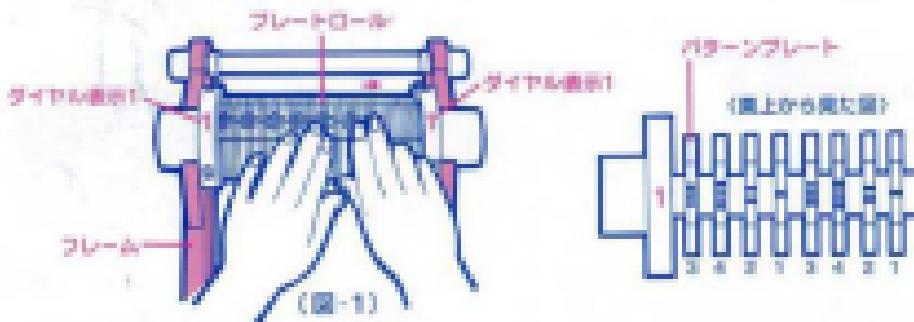


巻取り寸法：幅約18cm・奥行き約30cm  
テープ約10g、目地約10g程度



### 1. パターンプレートの準備

- ① フレームの上にプレートロールを置けます。そのとき、ダイヤル表示の1が左右とも真上になるようにします。
- ② パターンプレートを(図-1)のように右手で握り、左手で軽くおさえながら、左から3421-3421とセットします。

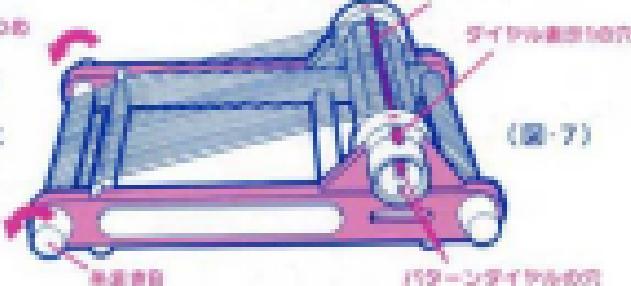


- ③ パターンプレートをセットしあわせたら、パターンダイヤルの穴の一方に調整棒1本を差し込み、パターンプレートを固定します。(図-2)



## 2. タテ糸の張り方

- ❶ タテ糸を平均に張るために、(図-3)のようにダイヤル表示1の穴にもう1本の調整棒を差し込みます。(タテ糸は直立以上の物を使用してください。)
- ❷ 毛糸のはしを机にして動かします。(図-4)
- ❸ 繋にした毛糸を(図-5)のように糸巻きのつめ1にかけ、次にプレートロールの左はしの孔に差し入れ、糸巻きAのつめ1にかけ、またプレートロールのとなりの2ヶ所に入れ、糸巻きBのつめ2にかけます。  
次から順にプレートロール→糸巻きB→プレートロール→糸巻きA→プレートロール→糸巻きAと、つめを1つずつにかけながらタテ糸を平均に張っていきます。
- ❹ 全額はりあわったら10cmくらい毛糸をのこして、一度ハサミなどで切り、糸巻き日の面積のつめに巻んで止めます。(図-6)



- ❺ ダイヤル表示1の穴に差し込んである調整棒をぬきとり、パターンダイヤルのもう一方の穴に差し込んでます。糸巻きBを矢印の方向へまわして、タテ糸を平均に引張ります。(図-7)



### 3. ヨコ糸の準備

- ① 手に、端を止めます。歯太の場合は50回転が適当です。巻き終わったら、約30cm位、手に巻かないで毛糸をのこして切ります(図-8)。

(図-8)



### 4. 呉りましょう

- ① フレームの矢印に、プレートロールのダイヤル表示2をあわせます。(図-9)  
ダイヤルをあわせると運は、からむず両手でまわしてください。  
2はく織りのパターンのダイヤル表示の織り始めの数字です。

(図-9)

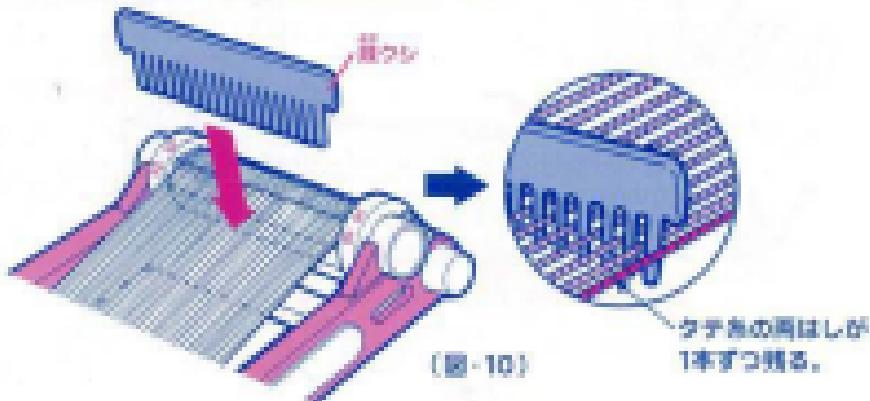


織り始め

(図りのパターン)



- ② ①の状態でタテ糸が上下にわかれます。上下の糸の間(隙縫)を右から左へ  
手をくぐらせ、ヨコ糸を通してます。このとき糸は10cm位のこしてください。  
③ ヨコ糸を手前に引き寄せるために透クシを使います。透クシを差し込むと  
タテ糸の両はしが1本ずつ残ります。(図-10)



- ① リングでヨコ糸を手前に引き寄せます。環ウシは引き寄せたまま、置いておきます。
- ② ダイヤル裏面を手にあわせて、左から右へ糸をくぐらせ、ヨコ糸を通します。このときヨコ糸の右はしまを環ウシより1cmほど上におき、ヨコ糸がななめにならるようにします。これにより、ヨコ糸に半身みがついて、繰り幅がきれいになります。(図・11)



- ③ 環ウシをとり、糸ほったヨコ糸を手前に引き寄せます。このように2・6・2・6……とダイヤルをあわせ、ヨコ糸を通して繰り幅めます。(最大の織合、4輪織って約1cmになるのが適当です。)

- ④ 80回(約20cm)繰れたる織り幅にします。織り終わった最後のヨコ糸は、右はしから10cmを切って切ります。(図・12-①)

- ⑤ 手巻きAにかけてあるタテ糸を、フレートロールと手巻きAとの間で切れます。(図・12-②)タテ糸の端の端をみこんで切りましょう。

- ⑥ 切ったあと、糸を手前に持ってきて、手巻きBからタテ糸をはずします。そして、つながっているタテ糸の端をハサミで切っておきます。

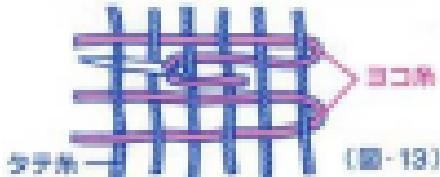


## 5. 端の結束(フリンジのつくり方)

- ① ヨコ糸の糸はしがでている反対側から、モータすずつ重ねて結び目をつくります。(縫のつくり方は、デザインにあわせて遊びましょう。)

- ② 繋して切った10cmのヨコ糸に毛糸針をつけて、(図・13)のように縫いこみます。)

- ③ 結ねた縫をきれいにくしで整え、ハサミで切りそろえます。(図・14)これで完成です。





# 長いものを縫るとき



どうですか、テーブルセンターはうまく出来たでしょうか。

最初はなかなかうまくいかないかもしれません。だんだんじょうずになってきますから安心してください。お腹筋、バターン機能を使ってマフラーを縫ってみましょう。

## マフラー

[これは縫りのパターンND12で縫ったものです。]

タテ糸約40g、ヨコ糸約60g用意します。

タテ糸とヨコ糸の色をかえると模様がはっきり出来ます。



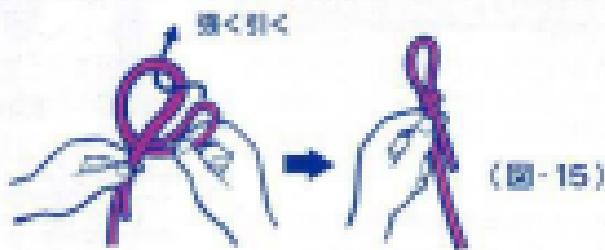
お腹上り寸法：幅約18cm・長さ約180cm

### 1. バターンプレートの準備

- 自分の好きなバターンを、11ページの縫りのパターンの中から選び、バターンプレートをセットします。そして調整棒1本を差し込み固定します。（わからなかったら11ページを見てください。）

### 2. タテ糸の張り方

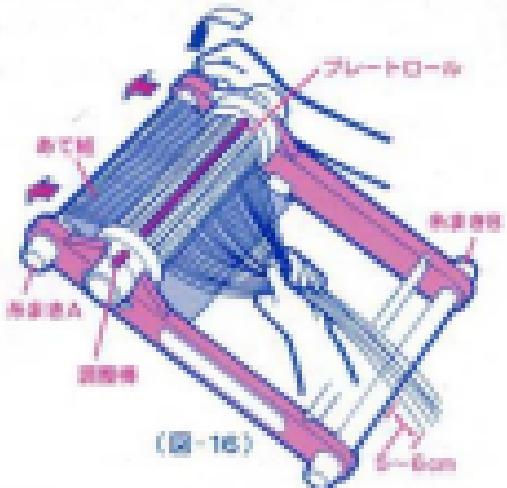
- 180cmの長さのタテ糸を40本用意します。（タテ糸は丈夫以上の物を使用してください。）（180cm=縫う上がり寸法130cm+腰の分30cm+20cm）
- 40本のタテ糸の片端にそれぞれ縫ひ目をつくります。（図-15）



- 表書きAのために、40本のタテ糸の端をそれぞれ1つずつかけ、プレートロールの孔に入れます。そしてタテ糸が、はずれないように調整棒をダイヤル表示1の方に入れ、タテ糸の上に通します。（図-16）

④ あて縫を3枚用意します。プレートロールの下からあて縫1枚を通して、糸巻き糸にひきこみます。このときあて縫の両端はひきせロテープであれば糸巻き糸にとめると、あて縫がすぐに壊れいに瑕付します。

⑤ タテ糸を（図-16）のように左側でござり、たるんでいる糸のないようになります。糸を握ったまま、右手であまき糸の右ハンドルのみを両手側へ回らして、あて縫と一線に糸を巻きとり、糸のはしが手前の方巻き糸から～8cm巻まつたところで止めます。（巻きとる筋がなくなったら、次の糸をつけたとして繰ります。）



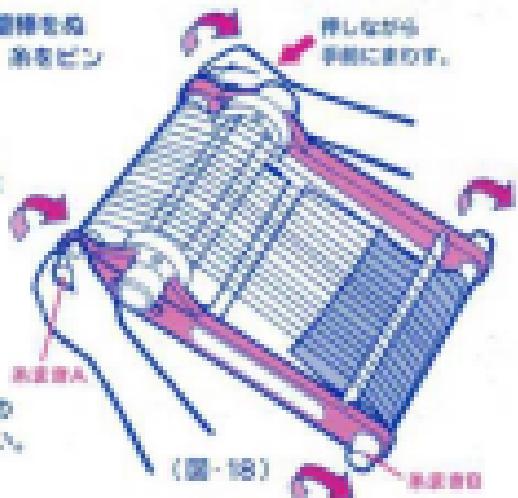
⑥ タテ糸を左から順に、1本ずつ2ツ目を通して手前に引き、糸巻き糸のために捻んでいます。（図-17）



⑦ タテ糸を全部はり終わったら、調整棒をぬきとり、糸巻き糸を手前にまわし、糸をピンとほります。

⑧ 番の部分として、タテ糸の手前から15cmを糸巻き糸に、あて縫をはさみながら巻きとります。このとき、あまき糸の左右を両手で押しながら手前にまわし、糸をゆるめ、糸巻き糸を手前にまわして、また糸をはり、これを繰り返して巻きとります。（図-18）

糸をゆるめると糸は、必ず左右のハンドルを両側に使ってください。

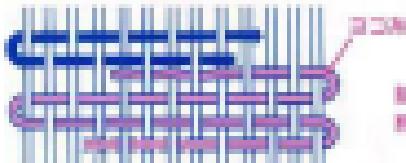


### 3. 織りましょう

- ① 布に毛糸を巻きます。5ページの「ヨコ糸の準備」の①を参考にしてください。
- ② ダイヤル表示を先端にあわせて織ります。織り道につれて、ヨコ糸が通しにくくなるので、約15cm織るごとに、糸巻き台にあて糸をはさみながら、布を裏面とついています。これを繰り返し、540枚（約130cm）織ります。（糸がたりなくなったら、糸巻き台のはずれた糸を使ってください。）

### 4. ヨコ糸をつなぐ時

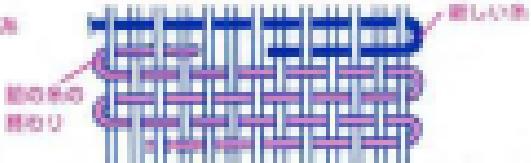
- ① 手に巻いたヨコ糸が終わったらときは、下の図（図-19）のようにしてつなぎます。



（図-19）

### 5. ヨコ糸の色をかえる時

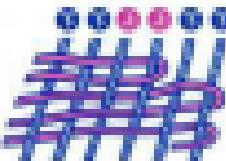
- ① 行を2本使います。新しい色の時は、前の糸の終わりと逆の方から手を通して下の図のように織ります。（図-20）



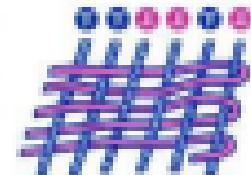
（図-20）

### 6. 布の両面しきそらえる

- ① パターンによって、（図-21）のように両面しきのタテ糸にヨコ糸が通らないときはあります。そのときは両面しきのタテ糸を必ず（図-22）のように上下を逆にして杼を通してください。



（図-21）



（図-22）

### 7. 端の処理

- ① 端の部分としてタテ糸を15cmほど残し、ハサミで切れます。
- ② タテ糸の端の部分をデザインにあわせて、4~5本ずつ要めて結び端をつくります。
- ③ 結ねた端をくしで整え、重ねないようにハサミで切りそろえます。（図-23）（アイロンをあてると綺麗目がきれいにそろい直す。）これで完成です。



（図-23）

## 8. フリンジにしない場合の糸の始末

フリンジを作らない場合は、次のような方法で糸の始末をしましょう。

### A. カギ針を使う方法

- ① 終点した糸が目立たせん。
- ② 中盤のカギ針を使って、右図のように施す。



左かんたんによく本作りでタチ糸を結んでひる。カギ針使(图-24)のように縫い目に通ないようにとおします。

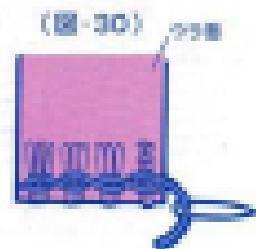
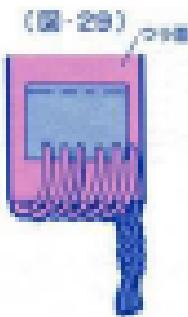
結ったタチ糸も同じように拘束(图-25)します。

余分な糸を切ります。

### B. 糸でとめる方法

- ① ウラ面に、糸の始末のあとが見えます。

手縫、足もじ縫  
させておきます。



- ② 下の図1~4のように施す。

(1) ①の糸を  
おさえて②の糸を  
2本先の③の糸の  
下をくぐらせ、上  
に引き上げます。

(2) ③の糸を  
おさえて②の糸を  
③の糸の下をくぐ  
らせ、引き上げます。

(3) 同じ手順を  
くり返し、最後  
に残った糸で  
らは、引き上げます。

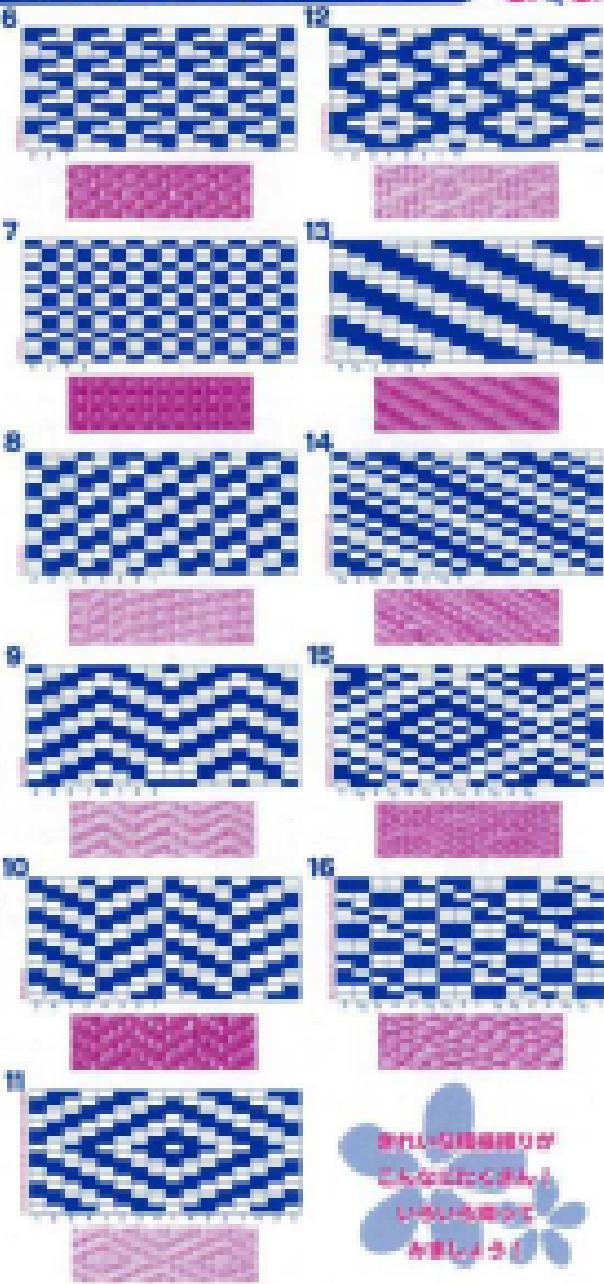
(4) 引き上げた糸を  
3~4本ひとまとめて、  
本縫糸をとおして、  
た跡で裏面に糸がで  
ないように、かえしぬい  
で止めます。

マフラーの仕事は先はどうですか？ 機械が滑れずに固めましたか？

# 織りのパターン

■ フレートローンの特徴が、織物・縫製の上級者に特に適しているのがこの織り方です。専門的な表現、フレートローンを少し難しくさせたテクニックが書かれていますが、専門用語、名前という表現は「パターンフレーテ」の言葉で織る組織をじかに言います。織り方には、幾つかの種類があります。

表してみました。



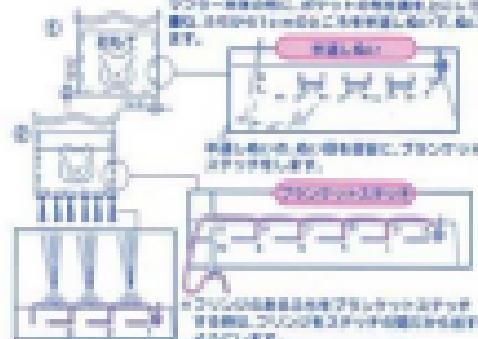
かわいい織り模様  
こんなにたくさん  
いろいろ見て  
みましょう！





壁にサケットとマフラーを組み替えて販売。

マフラーは車の構造によってサケットの位置が変わることがあります。この車両では、左側にマフラーを組み替えることができます。



## ピコレットのミニセベストリー

トヨタ車用ピコレット: Toyota Pico

トヨタ車用 — ピコレットセベストリー (標準) ハンドル  
操作: フロント・エンジン・システム (HES)

ピコレットの特徴を理解するため、ピコレットセベストリーの操作方法を確認してみましょう。

① ハンドルを手で握り、力を加えながら回す。回転方向を確認する。

② 両側の車輪を左右に回す。走行中にハンドル内の操作装置の動作によって走行方向の変更を行なう。

③ ハンドルを手で握る。

④ 運転席がピコレットの運転: 手握るだけで操作できます。車の外の運転席は、ピコレットを操作して走行します。子供や女性など手の小さな方でも安全。手の握り心地がとても気持ちいいです。

⑤ ハンドルを手で握る。ハンドルからピコレットの操作が離れます。車の下部に手を握ります。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

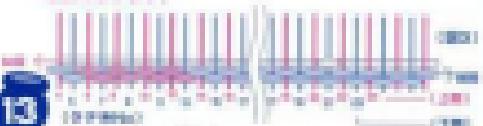
⑥ ハンドルを手で握る。ハンドルからピコレットの操作が離れます。車の下部に手を握ります。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

⑦ ハンドルを手で握る。上の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

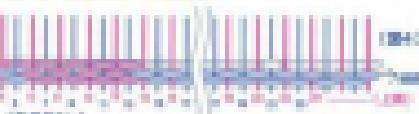
⑧ ハンドルを手で握る。上の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

⑨ ハンドルを手で握る。一番下の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

参考例: 第1—1回車: ハンドル: トヨタ車用 ハンドルの握り心地: 上方に付された上部のハンドルの握り心地: 下部のハンドルの握り心地になります。



⑩ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。



⑪ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。



⑫ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

⑬ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

⑭ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。握り心地の良さで運転するのが楽になります。

## ブーゲンのかわいにニボシエット

トヨタ車用 — ブーゲンのかわいにニボシエット (標準) ハンドル操作: フロント・エンジン・システム (HES)

① ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

② ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

③ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

④ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

⑤ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

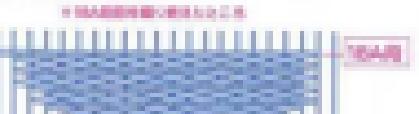
⑥ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

⑦ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

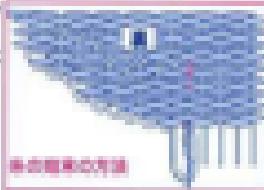
⑧ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

⑨ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。

⑩ ハンドルを手で握る。手の握り心地がとても気持ちいいです。



101 順り歩いた歩き脚を手でさげてお出であります。黄色  
は歩の足跡は、足を下に踏つ  
て歩く時です。



歩き脚の右脚

102 お出で用意してます。歩き脚と  
なりぬけ足と踏みぬけ足が  
歩き脚の順番とさせています。  
【歩き脚を2回歩ります。】

歩き脚と  
ぬけ足

121 1回の歩き脚には、2ペーパー  
歩幅と合わせて歩き始めた  
フレットの音をない物ですか。  
是・異なても取次行けます。

121 2歩幅歩と2歩幅の順序歩

12ペーパーの順序歩を知らない  
音ひらずす、二つ横めの順序歩を  
何けては見上がりです。

「順り歩」は、自己の歩幅を意識する時に手首のひらを確認するのに便利  
です。頭部前アームのガラレットの頭部、迷路ですごんぐえり。

ナフアモボ番号は、順り歩の距離から1-2-3-4-と読みます。

ナフアモボ番号は、14 → 15 → 16 → 24 → 25 → 34 → 35 → 45 → 46 → 55 → 56 → 65 → 66 → 75 → 76 → 85 → 86 → 95 → 96 → 105 → 106 → 115 → 116 → 125 → 126 → 135 → 136 → 145 → 146 → 155 → 156 → 165 → 166 → 175 → 176 → 185 → 186 → 195 → 196 → 205 → 206 → 215 → 216 → 225 → 226 → 235 → 236 → 245 → 246 → 255 → 256 → 265 → 266 → 275 → 276 → 285 → 286 → 295 → 296 → 305 → 306 → 315 → 316 → 325 → 326 → 335 → 336 → 345 → 346 → 355 → 356 → 365 → 366 → 375 → 376 → 385 → 386 → 395 → 396 → 405 → 406 → 415 → 416 → 425 → 426 → 435 → 436 → 445 → 446 → 455 → 456 → 465 → 466 → 475 → 476 → 485 → 486 → 495 → 496 → 505 → 506 → 515 → 516 → 525 → 526 → 535 → 536 → 545 → 546 → 555 → 556 → 565 → 566 → 575 → 576 → 585 → 586 → 595 → 596 → 605 → 606 → 615 → 616 → 625 → 626 → 635 → 636 → 645 → 646 → 655 → 656 → 665 → 666 → 675 → 676 → 685 → 686 → 695 → 696 → 705 → 706 → 715 → 716 → 725 → 726 → 735 → 736 → 745 → 746 → 755 → 756 → 765 → 766 → 775 → 776 → 785 → 786 → 795 → 796 → 805 → 806 → 815 → 816 → 825 → 826 → 835 → 836 → 845 → 846 → 855 → 856 → 865 → 866 → 875 → 876 → 885 → 886 → 895 → 896 → 905 → 906 → 915 → 916 → 925 → 926 → 935 → 936 → 945 → 946 → 955 → 956 → 965 → 966 → 975 → 976 → 985 → 986 → 995 → 996 → 1005 → 1006

ナフアモボ番号は、順り歩の距離から1-2-3-4-と読みます。

ナフアモボ番号は、14 → 15 → 16 → 24 → 25 → 34 → 35 → 45 → 46 → 55 → 56 → 65 → 66 → 75 → 76 → 85 → 86 → 95 → 96 → 105 → 106 → 115 → 116 → 125 → 126 → 135 → 136 → 145 → 146 → 155 → 156 → 165 → 166 → 175 → 176 → 185 → 186 → 195 → 196 → 205 → 206 → 215 → 216 → 225 → 226 → 235 → 236 → 245 → 246 → 255 → 256 → 265 → 266 → 275 → 276 → 285 → 286 → 295 → 296 → 305 → 306 → 315 → 316 → 325 → 326 → 335 → 336 → 345 → 346 → 355 → 356 → 365 → 366 → 375 → 376 → 385 → 386 → 395 → 396 → 405 → 406 → 415 → 416 → 425 → 426 → 435 → 436 → 445 → 446 → 455 → 456 → 465 → 466 → 475 → 476 → 485 → 486 → 495 → 496 → 505 → 506 → 515 → 516 → 525 → 526 → 535 → 536 → 545 → 546 → 555 → 556 → 565 → 566 → 575 → 576 → 585 → 586 → 595 → 596 → 605 → 606 → 615 → 616 → 625 → 626 → 635 → 636 → 645 → 646 → 655 → 656 → 665 → 666 → 675 → 676 → 685 → 686 → 695 → 696 → 705 → 706 → 715 → 716 → 725 → 726 → 735 → 736 → 745 → 746 → 755 → 756 → 765 → 766 → 775 → 776 → 785 → 786 → 795 → 796 → 805 → 806 → 815 → 816 → 825 → 826 → 835 → 836 → 845 → 846 → 855 → 856 → 865 → 866 → 875 → 876 → 885 → 886 → 895 → 896 → 905 → 906 → 915 → 916 → 925 → 926 → 935 → 936 → 945 → 946 → 955 → 956 → 965 → 966 → 975 → 976 → 985 → 986 → 995 → 996 → 1005 → 1006

ナフアモボ番号  
歩幅歩の方法図

(左から右)

ナフアモボ番号  
歩幅歩の方法図

(左から右)

↑ 順り歩の順序歩  
↓ 歩幅歩の順序歩

■	1-25	■	1-26
■	2-26	■	2-27
■	3-27	■	3-28
■	4-28	■	4-29
■	5-29	■	5-30
■	6-30	■	6-31
■	7-31	■	7-32
■	8-32	■	8-33
■	9-33	■	9-34
■	10-34	■	10-35
■	11-35	■	11-36
■	12-36	■	12-37
■	13-37	■	13-38
■	14-38	■	14-39
■	15-39	■	15-40
■	16-40	■	16-41
■	17-41	■	17-42
■	18-42	■	18-43
■	19-43	■	19-44
■	20-44	■	20-45
■	21-45	■	21-46
■	22-46	■	22-47
■	23-47	■	23-48
■	24-48	■	24-49
■	25-49	■	25-50
■	26-50	■	26-51
■	27-51	■	27-52
■	28-52	■	28-53
■	29-53	■	29-54
■	30-54	■	30-55
■	31-55	■	31-56
■	32-56	■	32-57
■	33-57	■	33-58
■	34-58	■	34-59
■	35-59	■	35-60
■	36-60	■	36-61
■	37-61	■	37-62
■	38-62	■	38-63
■	39-63	■	39-64
■	40-64	■	40-65
■	41-65	■	41-66
■	42-66	■	42-67
■	43-67	■	43-68
■	44-68	■	44-69
■	45-69	■	45-70
■	46-70	■	46-71
■	47-71	■	47-72
■	48-72	■	48-73
■	49-73	■	49-74
■	50-74	■	50-75
■	51-75	■	51-76
■	52-76	■	52-77
■	53-77	■	53-78
■	54-78	■	54-79
■	55-79	■	55-80
■	56-80	■	56-81
■	57-81	■	57-82
■	58-82	■	58-83
■	59-83	■	59-84
■	60-84	■	60-85
■	61-85	■	61-86
■	62-86	■	62-87
■	63-87	■	63-88
■	64-88	■	64-89
■	65-89	■	65-90
■	66-90	■	66-91
■	67-91	■	67-92
■	68-92	■	68-93
■	69-93	■	69-94
■	70-94	■	70-95
■	71-95	■	71-96
■	72-96	■	72-97
■	73-97	■	73-98
■	74-98	■	74-99
■	75-99	■	75-100

ナフアモボ番号 歩幅歩の方法図	(左から右)	ナフアモボ番号 歩幅歩の方法図	(左から右)
--------------------	--------	--------------------	--------

トヨタカーテン

トヨタカーテン

トヨタカーテンは、車の外観をよりスマートに見せるため、車の窓ガラスに直接貼付するカーテンです。

## 車内音響遮断

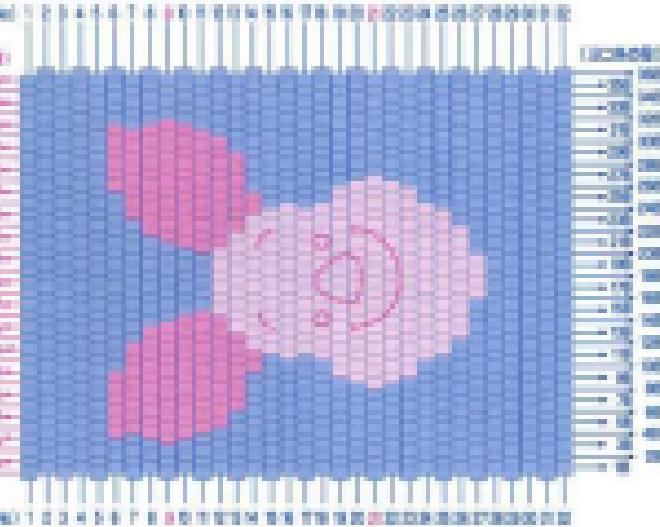
トヨタカーテンは、車内から外音を遮断する「音響遮断」機能の一環として開発されました。外音を遮断するためには、車の窓ガラスに直接貼付するカーテンが最も効果的ですが、カーテンを貼付するためには、車の窓枠を傷つけることがあります。トヨタカーテンは、車の窓枠を傷つけずに車内音響を遮断する方法で、車の窓ガラスに直接貼付するカーテンです。

→ 車内音響遮断

→ 車内音響遮断



トヨタカーテンは、車の窓ガラスに直接貼付するカーテンです。



トヨタカーテン専用電話番号  
03-6393-1031 (東京直通電話) 06-6395-1031 (大阪直通電話)  
TEL 03-3693-1031  
TEL 06-6395-1031  
平日午後3時~午後6時(祝日・土曜日・休日は午後5時~午後7時)